

令和4年度第1回龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会  
会 議 次 第

令和5年2月9日（木）午後1時30分から  
龍ヶ崎市歴史民俗資料館2階 多目的室

1 開 会

2 教育長挨拶

3 委員紹介

4 委員長あいさつ

5 議 事

- ・議案第1号 令和4年度歴史民俗資料館事業報告について
- ・議案第2号 令和5年度歴史民俗資料館事業計画（案）について
- ・議案第3号 中期事業計画の進捗状況について

6 閉 会

令和4年度第1回

# 龍ヶ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ヶ崎市教育委員会文化・生涯学習課  
(龍ヶ崎市歴史民俗資料館)

## 目次

◇議案第1号	
令和4年度歴史民俗資料館事業報告について	…………… p1
◇議案第2号	
令和5年度歴史民資料館事業計画（案）について	…………… p10
◇議案第3号	
中期事業計画の進捗状況について	…………… p15
別紙1	龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数（平成30年度～令和4年度）
別紙2	龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

議案第1号

令和4年度 歴史民俗資料館事業報告

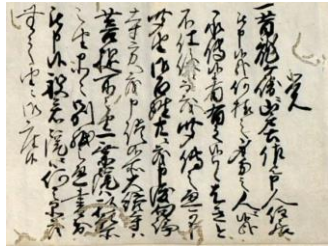
令和5年1月31日現在



1 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

(1) 常設展示			
展示期間	令和4年4月1日(金)～令和5年1月31日(火)		
日数	255日	入館者数	11,285人
展示場所	常設展示室, エントランス, 屋外		
展示テーマ	龍ヶ崎の歴史と民俗		
内容	<p>時系列的に龍ヶ崎の歴史を展示したものと人々のくらしとして民具, 調度品のほかに年中行事等について展示。</p> <p>エントランスホールには, 国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の4分の1ジオラマと視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。屋外では, 市指定文化財の4号機関車をはじめ, 納屋を模した建築に田舟や水稻栽培に用いた農具, 商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。</p>		
 <p>撞舞 1/4 ジオラマ</p>			
(2) ボランティア作品展「布れあい染織展」			
開催期間	4月19日(火)～5月8日(日)		
日数	18日	入館者数	981人
開催場所	企画展示室		
内容	<p>体験学習等で協働している資料館ボランティアと共催で, 染色や機織りの活動成果を発表する場として作品を展示。</p>		
			
(3) 非核平和推進事業パネル展 ―サダコと折り鶴―			
開催期間	7月2日(土)～7月18日(月)		
日数	15日	入館者数	787人
開催場所	企画展示室		
内容	<p>戦争の悲惨さを次世代に伝え, 平和に対する意識の高揚を目的に広島平和記念資料館から借用した写真パネルを展示した。会場内には折り鶴を折るスペースを設け, 広島平和祈念式典への中学生派遣の際に持参した。共催: 法制総務課</p>		
 <p>原爆の子の像</p>			
(4) 絹本著色十六羅漢像複製公開展			
開催期間	7月23日(土)～9月4日(日)		
日数	38日	入館者数	2,955認
開催場所	企画展示室		
内容	<p>龍ヶ崎市唯一の重要文化財の絵画を広く知っていただくため, 年4幅ずつレプリカを製作して部分公開してきた。令和2年(2020)には全16幅が完成し, 翌3年8月に全幅を展示したが, コロナ禍により一時中断して10月から再開した。そこで, 今回改めて公開展を開催した。</p>		
			

(5) 仲原遺跡発掘調査遺物展				
開催期間	9月11日(日)～10月16日(日)			
日数	31日	入館者数	2,073人	
開催場所	企画展示室			
内容	平成31年(2019)に発掘調査を行った「仲原遺跡(市内半田町ほか)」から出土した墨書土器等の遺物や遺構の写真を展示し、埋蔵文化財への理解を深めた。			
(6) 郷土作家展「廣津龍伍」展				
開催期間	10月29日(土)～11月13日(月)			
日数	14日	入館者数	1,401人	
開催場所	企画展示室・多目的室			
内容	茨城県芸術祭美術展の審査員や参与等を歴任している市内在住の廣津龍伍氏の油彩風景画20点を展示。 主管：市民文化芸術フェスティバル運営委員会			
(7) 龍ヶ崎市から世界へ 野口啓代展				
開催期間	12月4日(日)～12月18日(日)			
日数	13日	入館者数	1,044人	
開催場所	企画展示室			
内容	令和3年(2021)の東京オリンピックのフリークライミングで銅メダルを獲得した野口さんが、「市民栄誉賞」を受賞1周年記念として、国際大会の優勝トロフィーやユニフォーム等ゆかりの品を展示した。共催：シティーセールス課			
(8) 収蔵品展「むかしの消防」				
開催期間	1月21日(土)～2月26日(日)			
日数	32日	入館者数		
開催場所	企画展示室			
内容	江戸期から昭和にかけて龍ヶ崎で消防に関わった人々が実際に使用した消防道具や装束等の展示と合わせて、火消しの古文書を初公開した。			

## 2 普及事業の実施

(1) 古文書講座 ①上級コース「近世古文書を読む」 ②初級コース「初めての古文書」				
開催回数	① 上級コース ② 初級コース (各8回)			
開催場所	多目的室			
受講者数	① 20名, ② 23名			
講師	①盛本昌広さん ②龍ヶ崎市古文書同好会員			
内容	6月から2月までに各コースを8回。第1日曜に初級, 第2日曜に上級を今年度は対面式で講座を再開した。 ①満願寺宛徳川家康書状(慶長7年), 山戸土佐に付覚, 等 ②広告等「今に残るくずし字」, 山崎十左衛門日記, 等			山戸土佐に付覚(師岡家文書)

(2) 歴史散歩	
開催日	①5月12日(日), ②6月4日(土), ③11月26日(土) ④12月3日(土)
参加者	①15名, ②20名, ③12名, ④20名
内容	郷土を再発見する目的で, 市内の旧所名跡沿いにコースを設定し, 周辺の遺跡, 寺社等を見学しながら歴史的背景を解説した。 ①牛久沼から八間堀周辺を散策。 共催: 馴馬台コミュニティセンター ②市街地西部の和菓子屋を中心に散策。 共催: 市民活動センター ③八代町や城ノ内地区を散策。 共催: 久保台コミュニティセンター ④市街地東部・大徳町の和菓子屋を中心に散策。共催: 市民活動センター
	
砂薬師(医王院)	
(3) 博物館見学会 [中止]	
開催日	10月, 11月(各1回)
内容	参加者募集を広報掲載する時期の8月末から9月に新型コロナウイルス感染症の感染者数が非常に多く, 掲載を見送り事業を中止した。
(4) れきみんシアター	
開催日	毎週土曜日
開催場所	多目的室
内容	6月の市広報で再開を周知。7月から幼児, 小学生とその親子を対象に「まんが日本昔話」を上映した。
(5) れきみん祭り [中止]	
開催日	8月(1回)
開催場所	館内及び屋外施設
内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と, 協働している資料館ボランティアの高齢化と炎天下の屋外でのイベントを考慮して中止した。
(6) 駄菓子屋 [中止]	
開催日	8月, 10月(各1回)
開催場所	屋外展示場
内容	同時期の開催される市域のイベントに合わせて中止した。
(7) 撞舞コスプレ体験	
開催日	①7月22日(金), ②24日(日)
開催場所	エントランスホール
参加者数	①9名, ②7名
内容	文化財の撞舞への理解を深めていただく機会として, 寄贈いただいた子どもサイズの舞男衣装を着て, 撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら, 舞男の気分を楽しんでいただいた。
	
記念写真風景	
(8) 8mmフィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会	
開催場所	多目的室
開催日時	①8月6日(土), 9月3日(土), 10月1日(土)
参加者	①11名, ②23名, ③14名
内容	市民協働事業の「映像アーカイブによる街づくり」で集めた8mmフィルムの活用を目的に, デジタル化し編集したDVDの上映会した。




(9) 郷土史講演会	
① 丁銭・九六勘定・九六銭について	
開催日	5月8日(日)
開催場所	多目的室
入場者数	14名
講師	反町忠男氏(龍ヶ崎市古文書同好会員)
内容	江戸時代の銭計算で合計額が合わない古文書が良くあります。銭96文をもって100文と見做す習慣で九六銭という銭勘定が理由です。金1両を銭に換算する銭相場は、この九六銭が用いられています。この換算方法について解説していただいた。
② 八田知家とその一族	
開催日	9月25日(日)
開催場所	多目的室
入場者数	26名
講師	盛本昌広氏(龍ヶ崎市文化財保護審会委員)
内容	NHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」にも登場した「八田知家」の出自。知家の軍功や合議制の13人に選ばれた背景。子孫が筑波山麓の小田を本拠とした小田氏や宍戸荘を本拠とした宍戸氏等の一族を通じて、常陸の中世史を講演いただいた。
③ 俺流に読む常陸国風土記	
開催日	10月22日(土)
開催場所	多目的室
入場者数	30名
講師	須藤 研氏 (東京大学生産技術研究所名誉教授)
内容	八溝山頂と鹿島, 吉田神社, 静神社の角度のズレは, おおいぬ座のシリウス星の方位が年々変わっている時系列的な変化であり, そこから読み解く『常陸国風土記』の成立は, 『古事記』『日本書紀』よりも古いのでは無いかとする, 独自の見解を様々な角度からお話しいただいた。




### 3 体験学習教室の実施

(1) わら草履作り教室	
開催日	8月25日(木)
参加者数	8名
開催場所	体験学習室, 屋外
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	稲作の副産物で, 現在は触れることが少なくなった藁を用い, 技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。
(2) 注連飾り作り教室	
開催日	①12月8日(日), ②9日(火)
参加者数	①6名, ②6名
開催場所	体験学習室, 屋外
講師	職員, 資料館ボランティア



内 容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承する。	
(3) 草木染め教室		
開催日	①5月24(火)と25日(水), ②8月4日(木), ③11月22日(火)	
参加者数	①8名, ②8名, ③8名	
開催場所	体験学習室, 屋外	
講師	職員, 資料館ボランティア	
内 容	日本の伝統的な染めの技法を伝承し、身近にある植物で行った。 ①春は、2日間の工程で、桜の枝を材料に木綿のストールで2色。 ②夏は、資料館の畑で栽培した藍の生葉を材料に絹のストールを染色。 ③秋は、枇杷の葉を材料に木綿のストールを染色。	
(4) 機織り伝承教室		
開催日	毎週火曜・木曜日	
開催場所	体験学習室, エントランスホール	
講師	資料館ボランティア	
対象者	資料館ボランティアの希望者	
内 容	高機の保存と併せて機織りの技術を習得し、その技術を永く伝承することを目的とする。また、館内で実演を行った。	
(5) 機織り教室		
開催日	3月(4回予定)	
開催場所	体験学習室, エントランスホール	
講師	資料館ボランティア	
内 容	上記の機織り伝承教室で習得した技術の普及とボランティア活動への理解を促進するため、高機を用いてランチョンマットを織る。	
(6) 簡単機織り教室		
開催日	①8月18日(木), ②23日(火)	
参加者数	①8名, ②7名	
開催場所	体験学習室	
講師	資料館ボランティア	
内 容	卓上機織り機を用いて、不要になった布を横糸にして、新たな織物を作る「裂き織」を体験し、布のリサイクル方法を学ぶ。	
(7) 折り紙教室		
開催日	①10月13日(木), ②1月17日(火)	
参加者数	①6名, ②6名	
開催場所	多目的室	
講師	木村峰子さん	



内 容	季節に合わせて干支や年中行事等をテーマに、装飾性のある作品を折り、折り紙の魅力を伝える。 ①では縁起物の「海老」、 ②では鶴の「お雛さま」。	
海老の折り紙		
(8) お手玉作り教室 (予定)		
開催日	3月2日(木)	
募集人数	8名	
開催場所	体験学習室	
講 師	職員, 資料館ボランティア	
内 容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り, お手玉遊び・数え唄等を伝承し, 昔の遊びに触れる。	
(9) 竹細工教室 [中止]		
開催日	8月(1回)	
開催場所	体験学習室	
講 師		
内 容	れきみん祭りに合わせて中止した。	
(10) 龍ヶ崎とんび凧作り教室 [中止]		
開催日	12月3日(土)	
開催場所	体験学習室	
講 師	龍ヶ崎とんび凧研究会	
内 容	市民遺産の「龍ヶ崎とんび凧」を制作の教室を企画したが, 応募者が少数であったため, 別会場で行なわれる教室を紹介して中止した。	

#### 4 文化活動の推進及び支援


(1) 『常陽小学生新聞』「昔の道具とくらし」に寄稿 【県南版】 土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎・守谷・つくばみらいの各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】 水戸市の公立小学校全児童に配布		
内 容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を寄稿し, 子どもたちに昔の道具とくらしに関心を促すとともに, 館のPRを図った。	
タイトル	①糸車, ②高機, ③薬研, ④水銀体温計, ⑤千歯こき, ⑥足踏み脱穀機, ⑦タイプライター (欧文)	
		令和4年9月号
令和4年5月号		
令和4年6月号		
(2) 『りゅうほー』「龍ヶ崎よもやま話」を寄稿		
内 容	龍ヶ崎の歴史や民俗に関心を持ていただく目的で, 今年度は「将門の時代と龍ヶ崎」をテーマに寄稿した。全6話中4話が掲載された。	

	<ol style="list-style-type: none"> <li>市指定文化財「宝篋印塔（伝平国香供養塔）」と平国香系図、</li> <li>安楽寺・前編，県指定文化財「鰐口」と千葉市指定文化財「梵鐘」</li> <li>安楽寺・後編，色川三中共著『野中廻清水』と『東国闘戦見聞私記』</li> <li>清水山慈眼院，観音堂と十一面観音像（市指定文化財）</li> </ol>
 <p>令和4年6月後半号「宝篋印塔（伝平国香供養塔）」</p>	 <p>令和4年11月後半号「清水山慈眼院」</p>
(3) 資料閲覧及びレファレンス	
期 間	通年
場 所	図書研究室，事務室
利用資料	<p>【貸出資料】</p> <p>「竹内農場庭園設計図」パネル，「上杉謙信書状 土岐大膳大夫宛」画像データ，「広報龍ヶ崎」第1号から75号（2～6号は欠番）</p> <p>〔写真資料〕</p> <p>「西洋館竣工写真」パネル，龍ヶ崎市内写真（22点），屋代城出土遺物（鏡，石臼，摺鉢），「宿駅図（若柴星宮神社蔵）写真」，「一斗枴」写真，出版社写真集刊行の龍ヶ崎市内写真（22点），</p>
(4) 小学校見学学習支援	
期 間	1月24日（火）～2月24日（金）（予定）
場 所	展示室，多目的室，エントランスホール
対 象 者	市内，近隣の小学校3年生
参 加 希 望 校	<p>〈市内〉</p> <p>城ノ内，長山，龍ヶ崎西，大宮，駒馬台，駒柴，</p> <p>八原，久保台，龍ヶ崎，川原代，松葉</p> <p>〈市外〉</p> <p>阿見第二，かわち学園</p>
内 容	<p>小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の学習内容に合わせ，昔の道具の展示解説，ビデオ視聴，綿繰等を実演する予定である。</p>
(5) 学芸員実習生の受入	
期 間	①8月23日（火）～28日（日），②9月24日（土）～30日（金）
場 所	歴史民俗資料館
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住，出身者及び近隣市町村在住者
内 容	<p>学芸員の資格取得を目指す大学生に，資料館業務の実習指導を行った。</p> <p>【受入れ実習生数】</p> <p>①4名（立教大学，大東文化大学，国士舘大学，江戸川大学）</p> <p>②1名（茨城大学）</p>
(6) 職場体験の受け入れ	
期 間	①7月28日（木），②11月24日（木）・25日（金），③12月15日（木）・16日（金）
受入れ校	①竜ヶ崎一高附属中学校2名，②城西中学校5名，③城ノ内中学校3

	名,
内 容	中学生が仕事を体験することで、自分の将来の進路や職業について考え、勤労に関心を持つ機会を提供した。実習として、昔の景観写真を提供し、現在と同じ場所を写真撮影して比較するコメントを作り、展示解説をするように指導した。
(7) ボランティア活動の推進及び支援	
期 間	通年
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に、より身近な生涯学習の場として、親しむことができる人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進した。 【育成及び協働団体】 資料館ボランティア、龍ヶ崎市古文書同好会、市民環境部会道標調査

## 5 資料収集整理保存


(1) 資料の収集	
内 容	<p>資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。あわせて、郷土史関係図書の充実を図るため自治体史、博物館発行図書の収集を行った。</p> <p>【収集資料】( )内は寄贈者氏名 ○昭和期のレコード13点(山路景一)、○伝統染織に関する書籍10点(佐藤恵美) ○鈴木草牛筆似顔絵複製1点、○扇風機と煙草盆、 ○鈴木草牛筆絵画1点、○川北英司筆絵画10点、 ○ガラス湿板写真2点、○旧日本海軍士官用制帽2点、 ○星宮神社関連冊子2点、金龍寺本堂屋根瓦改修決算報告書1点、写真及び写真パネル6点、○米町下組御奉社講文書26点及び文書箱1点、○龍ヶ崎小学校木造校舎写真10点、○撞舞舞男面及び衣装1式</p> <p>【寄贈図書】(発行機関名) (茨城県) 茨城県教育委員会、茨城県教育財団、茨城県立歴史館、土浦市教育委員会、古河歴史博物館、神栖市歴史民俗資料館、稲敷市立歴史民俗資料館、牛久市教育委員会、かすみがうら市歴史博物館、大洗町幕末と明治の博物館、取手市教育委員会、城里町教育委員会、常陸大宮市教育委員会、常陸大宮市文書館、東海村教育委員会、石岡市教育委員会、水戸市教育委員会、水戸市立博物館、つくば市教育委員会、下妻市ふるさと博物館、八千代町教育委員会常陽藝文センター、外 (千葉県) 国立歴史民俗博物館、千葉県文書館、我孫子市教育委員会、印西市立木下交流の杜歴史資料センター、印西市立印旛歴史民俗資料館、松戸市立博物館、野田市郷土博物館、八千代市郷土博物館、木更津市郷土博物館金のすず、流山市博物館、関宿城博物館、外 (埼玉県) 埼玉県歴史と民俗の博物館、埼玉県立川の博物館、さいたま文学館、蓮田市教育委員会、ふじみ野市教育委員会、朝霞市立博物館、外 (東京都) 東京都江戸東京博物館、港区立郷土資料館、板橋区教育委員会、板橋区郷土資料館、豊島区立郷土資料館、文京区鷗外記念館、世田谷区立郷土資料館、江戸川区教育委員会、葛飾区郷土と天文の博物館外 (神奈川県) 横浜市歴史博物館、平塚市博物館、大磯町郷土資料館外</p>

	(その他) 群馬県立歴史館博物館、岩宿博物館、仙台市博物館、相馬市史編さん委員会、長野県立歴史館、諏訪市教育委員会外
(2)	資料の整理・保存
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。 また、来年度に燻蒸作業を行うため、収蔵資料及び展示資料の虫害、菌害状況を確認する環境モニタリング調査を実施した。5月6日(金)～11月1日(火)
(3)	市内の祭礼や年中行事の調査
内 容	『龍ヶ崎市史 民俗編』(平成5年刊行)に掲載されている祭礼等追跡調査として、次の祭礼の聞き取りや現地調査を行った。 ○聞き取り調査 ・ 馴柴地区 大羽谷津のオピシヤと産土様の祭 幸谷(小通幸谷町)のオピシヤ ・ 八原地区 貝原塚町姫宮神社の祭、下羽原大六天社の祭礼、下八代の熊野様 ・ 長戸地区 板橋町境坪の権現様、板橋町北坪のゴンゲンマツリ ・ 北文間地区 羽黒町の神明社の祇園、羽黒町の正月祭、須藤堀町の須間神社の祭 ・ 龍ヶ崎地区 根町の稲荷講、米町高田権現社、米町上のオピシヤ、 米町下組「御奉社」(廃止) ○祭事確認のみ 羽黒町の大杉様・稲荷様祭礼、横町のオピシヤ ○報告書の作成 上八代の弁天様、馴馬神明坪のオピシヤ、羽黒町秋の祭礼(団子・甘酒)  前年度まではコロナ対策もあり、知人を通じた聞き取り調査であったが、今年度は区長や自治会長を通じた電話や対面の調査に切り替え19か所(前年12か所)を調査した。悉皆調査率は71.7%となった。また、新型コロナウイルス感染症によって、祭礼を中断あるいは当番を留任する地区が増えている。さらに少子高齢化も加わって、米町下組「御奉射」は解散廃止の報告となった。コロナ禍後の地域祭礼を見据えて、追跡調査を継続する。
(4)	資料の複製製作「上杉謙信書状 土岐大膳大夫宛」(土岐家文書)
内 容	越後の戦国大名上杉謙信と常陸南部の国人領主土岐大膳大夫(治英)との関係を伝える資料の複製を作製した。治英は、龍ヶ崎市馴馬町の来迎院多宝塔(国指定重要文化財)を修築した人物としても知られる。また、謙信は戦国武将ランキングで常に上位に入る人物で、謙信の書状を目にする機会を設けるとともに、龍ヶ崎の町の基礎を築いた土岐氏時代への理解を深める資料としている。
	 <p>左: 上杉謙信書状</p>

## 議案第2号

### 令和5年度歴史民俗資料館事業計画（案）

#### 1 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

(1) 常設展示	
展示期間	令和5年4月1日（金）～令和6年3月31日（日）
展示場所	常設展示室，エントランス，屋外
展示テーマ	龍ヶ崎の歴史と民俗
内 容	時系列的に龍ヶ崎の歴史を展示したものと人々の暮らしとして民具，調度品のほか年中行事等について展示。 エントランスホールには，国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞の4分の1模型と視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。 屋外では，市指定文化財の4号機関車をはじめ，納屋を模した建築物に田舟や水稲栽培に用いた農具，商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。
(2) ボランティア作品展「布れあい作品展」	
会 期	4月下旬～5月上旬
開催場所	企画展示室
内 容	体験学習で協働している資料館ボランティアと共催で，染色や機織り活動成果を発表する場として作品を展示。
(3) 松田正平と川北英司の作品展～洲之内徹が認めた二人の画家～	
会 期	6月
開催場所	企画展示室
内 容	当市出身の洋画家・川北英司の作品9点が寄贈された。これに合わせて，英司氏がコレクションしていた日本芸術大賞を受賞している松田正平の油彩等を借用し展示する。
(4) 非核平和推進事業展	
会 期	7月
開催場所	企画展示室
内 容	市法制総務課と共催で広島平和記念館所蔵の原爆写真パネル等を展示して，戦争や被爆体験を次世代に継承して平和意識の高揚を図る。
(5) 発掘遺跡紹介展「馬場台第2遺跡・八幡作遺跡」	
会 期	8月～9月
開催場所	企画展示室
内 容	令和4（2022）年に都市計画道路佐貫3号線整備事業に伴い発掘調査が行われた若柴町の遺跡計1，310㎡から住居跡や土器片・石製品等が出土した。これらの遺物や遺構を紹介する。
	
	台付甕（第6号住居跡出土）
(6) 複製品絹本著色十六羅漢像展	
会 期	9月～10月
開催場所	企画展示室
内 容	龍ヶ崎市唯一の絵画の重要文化財である十六羅漢像の複製品を展示公開し，文化財への理解を深める。

(7) 郷土作家展	
会 期	11月
開催場所	企画展示室, 多目的室, 体験学習室
内 容	文化芸術フェスティバルの特別企画として, 龍ヶ崎にゆかりのある作家の作品を展示紹介し, 郷土作家を顕彰する。
(8) 収蔵品展「昔の道具とくらし」	
会 期	1月～2月
開催場所	常設展示室, 企画展示室
内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の見学時期に合わせて, 昔の道具類を展示し学習支援を行う。

## 2 普及事業の実施

(1) 郷土史講演会	
① 家康家臣の戦と日常—松平家忠日記をよむ—	
開催日	5月中
開催場所	多目的室
募集人数	30名
講 師	盛本昌広さん(龍ヶ崎市文化財保護審会委員)
内 容	本年のNHK大河ドラマに合わせ, 家康家臣の松平家忠が武田氏との戦いから豊臣政権下での関東への領地替えの生活等, 17年間にわたり書き続けた日記を基にした著書を持つ講師に講演をいただく。
② 俺流に読む常陸国風土記(その2)	
開催日	7月
開催場所	多目的室
募集人数	30名
講 師	須藤 研氏(東京大学生産技術研究所名誉教授)
内 容	前回の風土記の成立年代に続いて, 各郡の地名説話や各地の山河原野等の地名の由来を独自の考察でお話しいただく。
(2) 古文書講座「近世古文書を読む」(上級コース・初級コース)	
開催回数	上級コース…8回 初級コース…8回
開催場所	多目的室
募集人数	各コース30名
講 師	盛本昌広さん, 古文書同好会員, 外
内 容	寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い, くずし文字の解読方法を指導, 歴史用語や時代背景を解説する。
(3) 歴史散歩	
開催日	5月, 10月, 11月
見学コース	未定
募集人数	30名
内 容	市民団体と協働して, 郷土を再発見する目的で, 牛久沼やその周辺沿いにコースを設定し, 牛久沼の開発経過とその遺構等を見学, 解説する。
(4) 駄菓子屋	
開催日	10月
開催場所	屋外展示「店」
内 容	ふれ愛広場の開催に合わせて, 屋外の店で昭和レトロな懐かしい雰囲気と縁日的な楽しさを提供する事業。
(5) れきみんシアター	
開催日	毎週土曜日
開催場所	多目的室

内 容	小中学生を対象に、「まんが日本昔ばなし」や「まんが日本史」等を上映し、アニメを通して歴史に対する関心を促進する。
(6) 撞舞コスプレ体験	
開 催 日	7月
開催場所	エントランスホール
内 容	文化財の撞舞への理解を深めていただく機会として、寄贈いただいた子どもサイズの舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら、舞男の気分を楽しむ事業。
(7) 8mmフィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会	
開催日時	7月、8月、9月 第1土曜日
開催場所	多目的室
内 容	協働事業「映像アーカイブによる街づくり」で市民から集めた8mmフィルムをデジタル化し編集したDVDの上映会を開催。

### 3 体験学習教室の実施

(1) わら草履作り教室	
開 催 日	8月(2回)
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	稲作の副産物で、現在は触れることが少なくなった「わら」を用い、技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。
(2) 注連飾り作り教室	
開 催 日	12月(2回)
開催場所	歴体験学習室, 屋外
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承する。
(3) 草木染め教室	
開 催 日	5月, 8月, 9月(計3回)
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	各回12名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	ハンカチとストールを素材に、春は桜の枝葉で、秋は藍やススキ等を用いて日本の伝統的な染めの技法を学ぶ。
(4) 折り紙教室	
開 催 日	6月, 11月, 3月(計3回)
開催場所	多目的室
募集人数	各回12名
講 師	折り紙伝承者
内 容	和紙を使って装飾性のある作品を折り、日本の文化である折り紙の魅力を楽しんでいただく。
(5) 機織り伝承教室	
開 催 日	毎週火曜・木曜日(通年)
開催場所	歴史民俗資料館 体験学習室, エントランスホール
講 師	資料館ボランティア
対 象 者	資料館ボランティアの希望者

内 容	高機の保存と併せて機織りの技術を習得し、その技術を永く伝承することを目的とする。また、館内で実演する。
(6) 機織り体験教室	
開催日	3月(5回)
開催場所	体験学習室, エントランスホール
募集人数	各回4名
講 師	資料館ボランティア
内 容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し、技術伝承の一端を学ぶ。
(7) 簡単機織り教室	
開催日	8月(2回)
開催場所	歴史民俗資料館 エントランスホール
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	細く裂いた不要の布を素材に小型の卓上機で「裂き織」を体験し、先人のリサイクル技法を伝える。
(8) 龍ヶ崎とんび凧教室	
開催日	12月
開催場所	歴史民俗資料館 体験学習室
募集人数	8名
講 師	龍ヶ崎とんび凧研究会
内 容	市民遺産に認定された「龍ヶ崎とんび凧」を復元制作し、その魅力と風化しつつある凧揚げの楽しさを伝承する。
(9) お手玉作り教室	
開催日	2月
開催場所	歴史民俗資料館 体験学習室
募集人数	16名
講 師	資料館ボランティア
内 容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる。

#### 4 文化活動の推進及び支援

(1) 常陽小学生新聞『昔の道具とくらし』に寄稿 ※【県南版】土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎・守谷・つくばみらい 各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布	
内 容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を毎月寄稿し、子供たちに歴史への関心を促すとともに、館のPRを図る。
(2) 『りゅうほー』「龍ヶ崎よもやま話」を寄稿	
内 容	龍ヶ崎の歴史や民俗に関心を持っていただく目的で、さまざまなテーマの話を寄稿する。掲載は不定期だが、全6回を掲載する。
(3) 資料閲覧及びレファレンス	
期 間	通年
場 所	図書研究室, 事務室
内 容	資料に対するレファレンスは、随時行う。また、市民グループの依頼により、展示解説や郷土史解説を開催して学習支援を行う。
(4) 学芸員実習生の受入	
期 間	1週間程度(8月)
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	各大学の依頼があり、次世代の学芸員を養成する目的で実習生の指導を行う。



(5) ボランティア活動の推進及び支援	
期 間	通年
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住，出身者及び近隣市町村在住者
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に，より身近な生涯学習の場として，親しむことができる人材を育成し，ボランティアが参画する事業を推進する。
(6) 古い道具と昔のくらしの学習支援	
期 間	1月～2月
場 所	歴史民俗資料館
対 象 者	市内及び近隣小学校
内 容	小学3年生の社会科「古い道具と昔のくらし」の見学学習に合わせ，昔の道具の展示解説，ビデオ視聴，道具体験を提供し，学習内容に興味を深められるよう支援を行う。 市内小学校は，見学予約が取りやすいように優先的に受付を行い，あわせて市役所のバスの手配を支援する。

## 5 資料収集整理保存

(1) 資料の収集	
内 容	資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。併せて，郷土史関係図書の充実を図るため自治体史，博物館発行図書の収集を行う。
(2) 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い，郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続して行く。また，収蔵庫及び展示資料の虫害，菌害を防止する燻蒸業務を行う。
(3) 市内の祭礼や年中行事の調査	
内 容	『龍ヶ崎市史 民俗編』（平成5年刊行）に掲載されている祭礼や年中行事の中で，追跡調査が行われていない祭礼を中心に聞き取り調査や現地調査を行ってきた。令和5年1月現在の調査率は71.7%であり，調査の進んでいない川原代地区を中心に残りの祭礼を順次調査を進める。

議案第3号

○ 中期事業計画の進捗状況

No.	担当課	事業No.	事業名	事業概要	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
					事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容
1	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		小学生向け郷土学習シートの作成(市の歴史的・文化的資源に対する児童・生徒の理解を促進させる事業)	主に郷土学習を行う小学3年生をターゲットとして、市内の名所旧跡を学ぶことのできる郷土学習シートを作成するほか、各所にスタンプを配置し、スタンプラリーができる環境を作ります。	—	現行の副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を参考に学習シートを作成中。改訂版が次年度に発行されることから学習シートの内容を再確認する必要がある。	刊行された改訂版の副読本を参考に学習シートを作成中。スタンプの配置は課題が多く中止。	龍ヶ崎発見フォトラリー対象施設の解説シートを作成。QRコード等を活用したアプリのスタンプラリー導入を検討中。	アプリを活用したスタンプラリーの費用対効果を検討し、企画書を作成。
2	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		市内の祭礼・年中行事調査の悉皆調査【市長ブレイクダウン】	かつての市史編さん事業で調査された祭礼や年中行事の現況を調査し、記録保存に努め、それらを市民に向けて明らかにし、関心を高めていきます。	市史掲載の祭礼を中心に37件の確認を行い、うち2件は現地調査を行った。なお、平成23年から同30年までに30件分は調査済である。	7件の祭礼の聞き取り調査を行った。しかし、コロナ禍であり対面での聞き取り調査が難しく、祭礼自体も中止となっており、進捗していない。	12件の祭礼について、聞き取りや現地調査を行った。コロナ禍から祭礼自体を廃止の報告も1件あり、	19件の祭礼の聞き取りや現地調査を行った。コロナ禍から祭礼を省略している事例が多く、さらに組織に解散事例もあり追跡調査を継続する。	調査が進捗していない川原代町を中心に、地域の祭礼の追跡調査を継続する。また、特徴ある祭礼について現況を調査し、記録保存する。
3	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		文化財・市民遺産等案内ボランティアの育成	文化財や市民遺産等を解説し案内できる市民ボランティアを養成する。	—	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して文化財や市民遺産等を解説し案内できる人材を養成する。	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して、まち歩き(歩く歴史講座)を計3回実施	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して、まち歩き(歩く歴史講座)を計4回実施。	ボランティアと協働したまち歩き(歩く歴史講座)を実施。
4	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		市史編さん事業で整理・保管されている古文書の解説と活用	市史編さん事業で整理・目録化がなされた古文書のうち、未解読のものを解読し、明らかになっていない歴史や民俗等を明らかにします。	—	横町伊勢屋文書「諸御用留帳」を古文書講座のテキストとして解読。古文書同好会に資料提供して、宮瀨町豊崎家文書「御用留」の解読を進めている。	古文書の解読。	「諸御用留帳」から天保2年の火消人足割当を紹介展示。豊崎家文書は、安政2年から11年間分の「御用留」の筆写が終了。	古文書の解読書や研究紀要の刊行にあたり、専門的な監修者等を検討。
5	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		埋蔵文化財収蔵庫の建設と考古資料の整理・活用	新たに埋蔵文化財収蔵庫を建設する計画を立てる。建設後は龍ヶ崎小学校敷地内収蔵庫で保管している考古資料を移転。継続的に資料の整理を進め、展示等に活用します。	—	学校給食センターの再利用を検討し、埋蔵文化財収蔵庫としての利用が可能であることから施設の再利用を申請。	学校給食センター再利用の調整。結果次第で改修工事の設計等を検討、又は新築工事等を見据えた設置場所等の検討。	仲原遺跡(2019年)の発掘遺物を展示。埋文収蔵庫の屋根を修繕。新築については公共施設中期計画で進行管理する。	馬場台第2遺跡外(2022年)の発掘遺物を展示。埋文収蔵庫は、新築を公共施設中期計画で進行管理。
6	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		旧北文間小学校跡地活用に合わせた長興学校創設者顕彰等の展示計画の作成【市長ブレイクダウン】	旧北文間小学校跡地活用に合わせ、元校舎の1室を展示室とし、長興学校創設者の阿曾古登の事績等を紹介するコーナーを設ける。	展示資料の調査・整理 展示計画の策定	新資料、「飯塚古登へ褒章授与ノ件(国立公文書館蔵)」の調査。褒章などの所在を確認し、借用交渉中。	借用できた褒章や新資料の調査結果を加えた展示概要書を作成。	4月16日にスポーツサロン北文間館が開館。これに合わせて、長興学校創設者顕彰等の所縁の資料を展示公開。	資料の展示状況等を確認し、展示物によっては劣化防止の為、写真展示等に変更する。

別紙 1

龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数(平成 30 年度～令和 4 年度)

2023 年 1 月 31 日現在

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	開館日数	月平均	日平均
R4	1,222	1,119	1,154	1,636	1,984	1,510	1,967	1,784	1,560	1,321			15,257	255	1,387	60
R1 (コロナ前)との差	△ 492	△ 584	△ 353	△ 134	△ 1,444	129	△ 674	△ 669	43	△ 1,185	△ 2,734	△ 276	△ 8,373	△ 25	△ 582	△ 25
R3	1,162	1,226	1,020	1,451	339	291	2,002	1,827	1,052	915	728	1,165	13,178	267	1,318	49
R2	0	115	855	1,112	1,358	1,268	1,607	1,377	986	538	675	1,472	11,363	240	947	47
R1	1,714	1,703	1,507	1,770	3,428	1,381	2,641	2,453	1,517	2,506	2,734	276	23,630	280	1,969	84
H30	1,738	2,455	1,674	2,699	4,003	1,805	3,448	2,257	1,496	2,326	3,632	2,231	29,764	308	2,480	97
合 計	5,836	6,618	6,210	8,668	11,112	6,255	11,665	9,698	6,611	7,606	7,769	5,144	93,192	1,350	8,101	338
平 均	1,167	1,324	1,242	1,734	2,222	1,251	2,333	1,940	1,322	1,521	1,554	1,029	18,638	270	311	69

開館以来の延べ数	
入館者数	778,175
開館日数	9,612
日平均	81

令和4年度	展 示 名 称	入館者	開催日数	日平均
4/19～5/8	資料館ボランティア作品展「布れあい染織展」	981	18	54
7/2～7/18	「サダコと折鶴」展	787	15	52
7/23～9/4	絹本著色十六羅漢像複製展	2,955	38	77
9/11～10/16	仲原遺跡発掘調査遺物展	2,073	31	66
10/29～11/13	郷土作家展「廣津龍伍」展	1,401	14	100
12/4～12/18	野口啓代展	1,044	13	80
1/21～2/26	收藏品展「むかしの消防」	739	9	82

## 別紙2

## 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

氏 名	選出区分	備 考
ほそや じゅんいちろう 細谷 順一郎	学校教育関係者	継 続
あきやま たくや 秋山 卓也	学校教育関係者	継 続
お の たけと 小野 威人	学校教育関係者	継 続
さかいり ようこ 酒入 陽子 (委員長)	学校教育関係者	継 続
つつみ としあき 堤 利明 (副委員長)	社会教育関係者	継 続
たなか しんご 田中 伸吾	学識経験者	継 続
さとう まさよし 佐藤 正好	学識経験者	継 続
つかもと ゆたか 塚本 裕	学識経験者	継 続
いじま すすむ 飯島 進	学識経験者	新 規
ぬまた くみこ 沼田 公美子	公募の市民	継 続

任期：令和3年10月1日から令和5年9月30日まで